

設問番号	出題した問題		設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		岡山県(公立)		全国(公立)	
	年度	設問番号			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	H21	1(1)	「紋切り遊び」で1回折りのできる模様として、正しいものを選ぶ	事象を図形に着目して観察し、その特徴を的確にとらえることができる		○					○	○			84.7	0.5	85.3	0.4
1(2)	H21	1(2)	「紋切り遊び」のできる模様だけに見られる図形の性質を説明する	事柄の特徴を的確にとらえ、数学的な表現を用いて説明することができる		○				○		○		45.1	2.5	46.2	2.3	
1(3)	H21	1(3)	「紋切り遊び」で3回折りのできる模様として、正しいものを選ぶ	事象を数学的に解釈することができる		○				○		○		53.1	0.9	53.7	0.9	
2(1)	H25	2(1)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差が9の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明することができる	2(1) イ,ウ				○			○		35.5	27.6	37.3	23.1	
2(2)	H25	2(2)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和について予想した事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	2(1) イ,ウ				○			○		35.3	38.9	38.0	34.9	
3(1)	H26	3(1)	与えられた表やグラフから、人数が24人のときに6.0秒かかったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる			1(1) ウ				○		○		82.0	10.0	87.5	5.8
3(2)	H26	3(2)	大地さんの求め方を基に、ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間の関係を説明する	事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し、数量の関係を数学的に説明することができる			1(1) ア,エ			○			○		54.5	38.1	62.3	30.1
4(1)	H27	5(1)	1回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を答える	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる			小5 数量 (3) 1(1) イ				○		○		34.3	32.0	39.1	26.8
4(2)	H27	5(2)	2回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言いきれないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1(1) イ			○			○		20.6	35.4	23.3	29.7
4(3)	H27	5(3)	記名のある落とし物を1個1点、ない落とし物を1個2点として集計するとき、表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ	振り返って立てられた構想に沿って、事象を数学的に表現し、その意味を解釈することができる	2(1) イ					○			○		63.7	2.1	67.3	1.5
5(1)	H26	6(1)	弟が駅に着いたときの、兄のいる地点から駅までの道のりを求める	与えられたグラフを、事象に即して解釈することができる			2(1) イ,エ			○			○		57.1	14.0	62.7	9.0
5(2)	H26	6(2)	兄の速さを変えないとき、弟と兄の進む様子を表したグラフを選ぶ	グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善することができる			2(1) イ,エ			○			○		76.6	3.6	79.8	2.5
5(3)	H26	6(3)	兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する	グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる			2(1) イ,エ			○			○		25.9	25.2	29.9	17.5

※正答率、無解答率については、当該年度の全国学力・学習状況調査の結果を掲載しています。